

保育北九州

平成31年1月1日

発行 (一社)北九州市保育所連盟
〒805-0019
北九州市八幡東区中央2丁目1-1
(レインボープラザ5F)
電話 (093)661-2153番

発行人 酒井光義
編集人 西敏昭

2019 **194**



ししまいをみにいったよ

〈提供 八幡西支部〉

(5歳児の作品)

表紙	1
新年挨拶	2～3
新春特別企画 役員全員集合!	4～5
第56回北九州市保育研修大会	6～7
仲間たち	8～9
研修・一期一会	10
支部近況	11
雑感・編集後記	12

新年のご挨拶

一般社団法人北九州市保育所連盟

会長 酒井 光義



あけましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。昨年は当連盟の主催する各事業におきまして、皆様方の多大なお力をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。本年も変わらぬご協力のほどお願い申し上げます。

ここ数年国内での自然災害は規模も大きく甚大な被害をもたらし、いつこの身に起こってもおかしくない最中にいることが西日本豪雨等を通して実感されたことでした。年末に出された恒例の「文字」[災]はその世相を知らしめると共に私たちへの問いかけにも聞き取れます。これまで各地で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、少しでも早い復興をと念じつつ支援を続けたいところです。

さて、新制度の施行から4年が経過

しようとする中、1年後の制度見直しを見据え、国の子ども子育て会議が幾度か開催され、多くの問題が検討される中、様々な情報が錯綜しています。公定価格、経過措置の期限到来項目、無償化問題を中心に今後の制度見直しを進めることですが、保育所等における保育の質の確保、向上に関する検討会での論議と合わせ、これから求められる保育の姿が垣間見れるようです。

少子化対策の最大の目玉として「幼児教育・保育の無償化」が大詰めです。平成31年10月施行実施を目指しその作業が進められていますが、精査されず未解決の問題を残します。とりわけ保育料そのものにおいて保育所、幼稚園、認定こども園での3歳児の取り扱いや

負担額の有無、保護者負担とすると給食費の実費徴収方法に関する事等、地方行政、施設、保護者にとって大きな問題です。無償化に対して、そのものの反対を申し立てることはありませんが、実費徴収とされる食材料費について主食費・副食費共に施設による実費徴収とされるところに違和感を感じます。これまでも食育は保育の中の大切な位置づけとし実行していることであり、生命維持の根源でもあります。だからこそ無償化の中の基本とすべきこと、保育団体において強く要望すべきことも考えます。

本年度より実施されている「キャリアアップ研修」については、これまで行政とともに進め作り上げてきた本市の「保育研修制度」が先を見越した取り組みであったことが実証されました。他府県では見られない過去の研修受講が10年にさかのぼって認められたこと、研修日数11日の確保においても、これまでの車の両輪として歩んできたことの実績そのままと受け止められることです。更には市保育士会においても独自開催ができる組織として存在することとも心強いことですし、資質向上に向

けての意欲の表れといえましょう。本市にそれぞれの経験年数や職種にあった研修を受講できる体制があることを心から喜び、今後も積極的に望んでいただきたいと思います。

本市の保育事業の発展の推進力は、行政との強い信頼関係の確立と継続、そして連盟会員の結束力です。昨年の4年に一度の7支部合同の保育まつりの開催においては、あいにくの天気模様にもかかわらず、『育つ、育てる、育ちあう』をテーマに4000名の来場をいただき、社会へ保育所(園)の存在、子育ての大切さ、そして喜び、ともに支えあう施設であることを市と連盟と一体となって大きく発信することができたのも横のつながり、組織力の表れであったといえるでしょう。今後も大切にせねばなりません。

新年を迎え、これまで築き上げてきた認可施設として、保育施設としての誇りを胸に、保育界は大きく変わろうとしています。保育界のものは子どもたちの立場に立った視線とともに歩んで参りましょう。本年もどうぞよろしくお願い致します。

門司支部

支部長

西 敏昭

保育士会長

松本由紀子

小倉北支部

支部長

岡村 信久

保育士会長

福田みつよ

小倉南支部

支部長

藤井 英和

保育士会長

山崎 啓子

若松支部

支部長

松尾 副充

保育士会長

長畑 洋子

会長

酒井 光義

顧問

西村 賢了

藤岡佐規子

北野 一恵

副会長

山本 文雄

北野 久美

保育士会参与

中村 尋子

保育士会副会長

黒田 玲子

河崎 幸子

重國 香

本年も宜しくお願いします



八幡東支部

支部長

杉園 弘充

保育士会長

原田 利枝

八幡西支部

支部長

山本 文雄

保育士会長

鈴木富美子

戸畑支部

支部長

内田リツ子

保育士会長

井上 清美

新春特別企画

役員全員集合



左から〔後列〕重國、岡村、西、杉園、山本、河崎 〔前列〕黒田、北野、酒井、橘原、中村

日々よりよい保育に、ご尽力頂いている役員の方々の素顔をご紹介します。

- ① 役職・氏名
- ② 勤務園（所）
- ③ 趣味、特技等
- ④ ひっこし
- ⑤ 座右の銘

一般社団法人北九州市保育所連盟

① 会長 酒井 光義

② 小倉北区 神岳保育園

③ 楽器の演奏や歌うこと。オートハーブもどうにか頑張っています。

④ どっこいしょ！あ痛たたた！が口癖になっているのが怖いんです。ボディケアに努めているつもりですが、お酒をあびれば同じかも。新しい庭の手入れの出来栄えに喜びを感じるようにになりました。

⑤ 初心忘るべからず 世阿弥

① 副会長 山本文雄

② 八幡西区 聖愛保育園

③ 掃除

④ 最近、身近な方から断舍離や終活のお話をお聞きしました。自分もやろうと心掛けておりますが、忙しさを理由に延ばし延ばしにしています。しかし、壊れていても物は最後まで大切にしたいので、断捨離出来ないかもしれません。

⑤ 人の短を言うなかれ、己の長を説くなかれ

公益社団法人北九州市私立保育園連盟

① 会長 橘原 淳信

② 小倉南区 光法保育園

③ 囲碁・読書

④ 齢（よわい）を重ねたせいか、近頃頓（とみ）に忘れものが多くなった。家を出たあと忘れものを思い出し再び帰宅するのは日課となった。このようなことはこれまでもなかったかと言えば嘘になろうが、しかし現在（いま）の状況は曾てこれまでになかったと言っても過言ではない。妻に先立たれたことも一因であるうかつさしばしば我が身を慰めながらの日々である。趣味としている囲碁仲間との約束でさえ失念するようでは先が見えている。

全私保連の機関紙である「保

育通信」の新年号にも例年同様に新年の挨拶を寄稿した中

でもふれさせて頂いた「その一言で」の一文が殊のほか心に染みる。ほんのちよつこの一言が人を慰め、励まし、時には傷つけることになることを思い乍ら、今年も残りの人生を大過なく過ごしたいものと思っている。

⑤ 一意専心

① 副会長 西 敏昭

② 門司区 西光保育園

③ 音楽・映画鑑賞・銭湯巡り 等

④ 観衆を前にして演じる芸能の魅力を楽しんでいる。

大衆芸能：三味線・漫談・浪曲・古典落語 他

⑤ 和顔愛語（わげんあいご）

経典の中にある言葉で、おだやかな笑顔と思いやりのある話し方で人と接する

① 副会長 杉園 弘充

② 八幡東区 高見の森保育園

③ 釣り・将棋・旅行

④ 絶滅危惧種のかすみサンショウウオの繁殖に取り組んでいます。毎年近隣の某所から卵を取ってきて、園児と一緒に育て園庭のビオトープに放流し、今年5年目に初めて産卵が確認されました。いのちの

旅博物館の江頭学芸員から産卵池と認定されました。

⑤成せば成る

.....

①副会長 岡村 信久

②小倉北区 長浜保育園

③ゴルフ。特技は才能に恵まれず特になし。

④「仕事上での今年度一番の特記事項」長男が長浜保育園職員となったこと。「プライベートル」最近体もゴルフのスコアもメタボなので、どちらもダイエットすべく奮闘中。(道は険し)

⑤和顔愛語

.....

〔北九州市保育士会〕

①会長 (一般社団法人北九州市保育所連盟副会長)

北野 久美

②小倉南区 あげぼの愛育保育園

③趣味は多すぎて書ききれないですが...人が好き

特技は人間観察、柔軟な対応(「QよりAQ」アドリブのクオリティ)

④本来は人見知りで、明るい引きこもりの私ですが、子どもたちを前にすると勇気も元気もわいてきます。チャレンジ精神旺盛で、興味を持ったなんでも取り組みますが、最近の推しは「ホットヨガ」呼

吸を意識し、自分の体と向き合う大切さを実感しています。

⑤相逢先一咲 諦めるとは明らかに極めること

.....

①参与 中村 尋子

②門司区 花かご保育園

③旅行

④これまでウィンタースポーツのスケルトンは全く知りませんでした。現在網走南ヶ丘高校1年の孫が、NFの強化選手に選ばれユースオリンピック(スイス)をめざして、カール加里、ドイツ、スイスなどの合宿に参加しています。室蘭工業大学 清水一道教授がクラウドファンディングで307万円集めたお金と室蘭市・北海道が支出して孫のそりを制作中。孫の応援にはまっています。

⑤一期一会

.....

①副会長 黒田 玲子

②小倉北区 れんげ心の花保育園

③夜、テレビの録画を見ながら仕事をすること。特にスポーツはあらゆる番組(サッカー・スケート・カーリング・空手・柔道・卓球・野球・新体操・ボルダリング・サーフィン・スケボー・テニス・バレエ・ポル・馬術・エアロビ他)を観

ます。

④・服が捨てられないのが悩み

・東京オリンピックに行くのが望み

⑤泣こかい、跳ばかい、泣こよか ひつ跳べ

.....

①副会長 河崎 幸子

②小倉北区 今町保育所

③園芸・美術鑑賞

④演劇関係に、少しハマっています。ここ1年で、学生や地元の小劇場でのお芝居、博多座や歌舞伎座の歌舞伎など見る機会がありました。それぞれ味わいが違いますが、パワーをもらいました。

⑤「笑う門には福来る」という1年にしたいです。

.....

①副会長 重國 香

②八幡東区 大蔵保育園

③刺激を受けるもの探し

・旅行(TDRは、何度でも)
・映画・ライブ(毎年行ったスマップライブ...)

・読書(最初のほうを読んで満足すること...)

④ストレス解消法は、ナノブロック作りですが、近頃目の疲れが早く...

⑤『出会い』を大切に

およろこび

☆平成30年春 瑞寶單光章

さかえ保育園

統括保育士 夜部 榮子

☆平成30年秋 瑞寶單光章

幸神保育園

主任保育士 田中 和子

新栄はやとみ保育園

園長 吉岡 優子

☆全国私立保育園連盟保育功労賞

あげぼの保育園

園長 北野 哲也

鴨生田保育園

園長 松尾 副充

☆厚生労働大臣表彰(社会福祉功労者)

社会福祉法人 天心報恩会

理事長 吉井 桂子

蛭田保育所

所長 谷矢 勅子

☆厚生労働大臣表彰(保育事業従事者)

長浜保育園

副園長 岡村 うめ子

れんげ心の花保育園

園長 黒田 玲子

楠橋保育所

所長 松野 稲香

☆全国保育協議会会長表彰

萩原保育園

園長 鈴木 富美子

古前保育所

所長 石橋 郁子

今町保育所

所長 河崎 幸子

☆西村法昭顕彰会表彰

竜光保育園

指導保育士 深川 祥子

さかえ保育園

統括保育士 夜部 榮子

ふたば保育園

園長 松田 トシ子

第56回 北九州市保育研修大会

去る11月2日・3日の両日、アルモニーク・北九州ソレイユホールに約2千名の会員が参加して開催されました。以下、その概要をお知らせします。

第一日目 施設長特別研修会

講演

「発達障害を知ること

人を見る目が変わる

人に優しくなれる」

香西洋クリニック

院長 香西洋氏

発達障害を抱えている人が増えていることから、「発達障害」とは何か、どんなものかと理解することが重要である、とまず語られました。「発達障害」の種類1 学習障害（LD）2 注意欠如・多動性障害（AD／HD）3 自閉スペクトラム症（ASD）があり、それぞれの特性や症状を詳しく説明されました。コミュニケーションの特異性や感覚過敏、視覚優位、抽象的なもの曖昧なことは苦手等々を理解した上で、スケジュールを表にして明示する、急な予定変更や予定にないことはしない等、具体例を示しな

がらどのように

対応していき関

係を作っていく

とよいのかを話

されました。時

には、香西洋院

長先生ご自身の

エピソードを交

え、笑いを誘い

ながらも「困っ

ているのは本人なんです

とその人の立場に立つことの大切さを熱

く語られました。

「発達障害」は一生継続くものであり、

生涯にわたる支援が必要であること、ま

た障害の理解は人間理解であることと締

めくられました。

行政説明

北九州市子ども家庭局

事業調整担当課長 浅井 真理子



全国の少子高齢化の進展と本市の比較の説明から始まり、子育て支援の魅力とこれまでの取組みが話されました。元気発進！子どもプランの基本理念の4つの政策分野と子ども・子育て支援事業計画の構成が示され、本市の3つの取組み計画が話されました。1 子どもの育ちを支える幼児期の学校教育や保育の提供、年間を通じた待機児童ゼロへの対策

に向け、保育の「量の拡充」や「担い手の確保」に向けた取組み。2 安心して生み育てることが出来る環境づくりのわいわい子育て支援事業とのびのび赤ちゃん訪問事業。3 特別な支援を必要とする子どもへの支援の充実、母子・父子福祉センターの運営・ひとり親家庭自立支援給付金の促進状況の説明があり、最後に児童虐待への対応の早期発見・迅速かつ適切な対応の重要性が示されました。

第二日目 全体会

基調報告

（二社）北九州市保育所連盟

会長 酒井 光義

西日本各地豪雨と日本列島において、大規模な災害が発生し多くの方が被災されました。改めて自然災害の怖さを痛感したと同時に今後、身近なところで起こりうる災害であるため、保育園内の災害

についても体制を整え、十分に見直しするようにと通達がありました。

子ども子育て支援新制度が始まり3年半が経ちます。

子育て安心プランでは意欲的な自治体を支援するため、待機児童解消に必要な受け皿を確保し、女性就業率80%に対応できるように小規模保育、企業主導型等を増やしています。

待機児童解消のため0歳、1歳、2歳を受け入れる目的から企業主体の保育拡充問題等市町村が関与することなく国がすすめている中で果たしてそれで良いのか、「真」に子どもの成長発達を願うからこそ「不自信」がつのってきています。この制度の見直しが始まり保育所等の特性を踏まえた保育の質の確保・向上を図るため具体的な方策を検討しています。

また、本年度から社会福祉研修所、保育士会での研修体制が整いキャリアアップ研修の仕組みが確立し研修受講が実施されました。今後、一人ひとりが質の向上に努め学んでいくことです。

最後に皇后様の詩の中に「経験するだけでなく、経験したことに思いを巡らすように」とあります。子どもたちの出会い、素敵な場に居ること、保育園が続いて居るからこそ、今の保育のあり方を考えこれからも子どもたちの成長を願い携わりたいものですと締めくくられました。

実践発表

「交流型園内研修に取り組んで
『18年のあゆみ』」

みのり保育園

保育士 門本 佳代

自園では、社会福祉法人鳳雲会に所属している4施設で交流型園内研修に取り組んでおり、毎月の公開保育の観察と振り返りの会を現在も続けています。「保育は子どもの姿で始まり、子どもの姿で終わる」の言葉は、自分の保育の中で実感できるようになりました。これからも仲間たちと一緒に交流型園内研修を行い、保育のプロとしても力量を高める為、日々研鑽、日々努力していきたいです。

「配慮を必要とする子どもと

家庭への支援」

ふたば保育園

主任保育士 河内 千穂

我が園は、障害がある子どもない子ども共に育ってほしいという園長の強い願いから昭和52年に開園、様々な障害を持った子ども達と定型発達の子とが生活する保育園としてインクルーシブ保育を実践しています。

当初から、ポーター乳幼児教育プロ

グラムを参考に保育を進めてきました。職員は、保護者と共に喜び悲しみ苦しむことで、子どもと保護者を支えてきました。お互いを受け入れ助け合いながら人としての育ちの礎を築く事を確認することができました。今後、様々な子どもに合った保育を提供していきたいと思えます。

「保育士ナビゲーション

「育て・育ち合う保育士の魅力を伝えて」

北九州市保育士会 保育制度検討委員会

委員長 長畑 洋子

保育制度の検討委員会の発足は、昭和51年に制度委員会として発足しました。保育制度検討委員会は、一日保育士体験・学生体験学習・就職セミナー・保育士ナビゲーション（出前講演）の4つの活動を行っています。保育士ナビゲーション（出前講演）では、保育所（園）の社会的役割、仕事内容等を知り、保育士への関心を持ち一人でも多くの子ども達が「保育士になりたい」という将来の夢に繋げていく事を目的としています。保育士の仕事や魅力を伝え、児童や生徒が「保育士を目指してくれることを願って、これからも保育士ナビゲーションの活動を継続していきます」。

記念講演

「乳幼児期におけるアタッチメントの
重要性と保育者の役割」

東京大学大学院教育学研究科教授
発達保育実践政策学センター（Cedep）
副センター長

遠藤 利彦氏

遠藤先生は子どもを取り巻く大人との関係性（親子関係や保育者との関係）が子どもの一生の発達の方向性に深く関わってくると考えられ、その切り口としてアタッチメントに焦点をあててお話をされました。

アタッチメントとは『子どもが怖くて不安な時、大丈夫だよと安心感を与えること』です。乳幼児期のアタッチメントは自己（自己肯定感、自制心など）と社会性の力（心の理解能力、協調性など）といった非認知能力そのものの形成に影響すると言われました。子どもが特定の大人との関係の中でくっつきたいときにくっつくことができることが重要と繰り返されました。

新保育所保育指針の『幼児期に育って欲しい10の姿』においても、この中の8つは非認知能力であり、乳幼児期にこそ育つ力であると言われました。

また、私たち保育士が十分なアタッチメントを行い、『安心の輪』において子

どもにとつての安全基地、避難場所となること、安心感と見通しの中で子どもは自発的な探索を繰り返し、一人でいられる能力（自律性の発達）を高めていくことができるとも言われました。

子どもたちが一生の幸せの土台を見つけていくことができるように、日々保育を実践していくことの意味を考え、子どもに寄り添うためにはアタッチメントというごく当たり前のことが実は一番大切であるということでした。





今回2号にわたり、総合療育センター西部分所（八幡西区若葉）について所長の佐伯満氏と、きらきら通園園長の坂田陽子氏にお伺いしたことをお伝えしています。

前回の193号では、西部分所の概要と外来、リハビリテーションについてお伝えしました。194号では児童発達支援センターきらきら通園についてお伝えいたします。

北九州市総合療育センター西部分所（以下西部分所）は、外来診療・リハビリテーション部門と、児童通園部門に分かれています。

児童通園 児童発達支援センターきらきら通園（以下きらきら通園）

は、知的障害、発達障害、聴覚・言語障害などの発達や育児上課題のある子どもや肢体不自由・重度心身障害のある子どもを対象とした保育活動を行います。

また、子どもが保護者と共に通い、保育活動を通じて基本的生活習慣の習得や発達促進、集団生活を通して社会性を育てること、家族が子どもの特性を理解し、育児の方法や医学的知識などを身につけるための支援を行います。

坂田園長に様々な質問にお答えいただき、施設内を案内していただきました。

Q. きらきら通園では、どのようなことを行いますか。

A. 保育士が保育活動を通じて身近自立や集団生活に適応するための練習を行います。また、家族が子どもの特性を理解し、子どもに合わせた関わりなどを身につけるための支援を行っています。

POTOST心理士が保育活動に参加して子どもの状態を観察したり、個別に評価を行い保護者に対して子どもとの関わり方について助言を行うこともあります。

医師や看護師が健康状態を確認したり、必要な処置を行ったりします。

Q. 通園の状況を教えてください。

A. 発達支援に配慮を要するお子さんのクラスは3クラスあり、1歳〜3歳児が通園しています。

運動面・健康面を含む発達支援に配慮を要するお子さんのクラスは2クラスあり、1歳〜就学前の児童が通園しています。

利用日数は週1〜5日で、通園時間は10時〜14時です。

・クラス編成

年齢	状態	通園形態	通園日数
4〜5歳児	肢体不自由 重症心身障害	親子通園 (一部単独保育)	1〜5日
1〜3歳児	肢体不自由 重症心身障害	親子通園	1〜5日
2〜3歳児	知的発達 発達障害 難聴	親子通園	2〜3日
2〜3歳児	知的発達 発達障害		
1〜3歳児	知的発達 発達障害		

・通園の一日

10:15	運動遊び
10:45	おやつ(牛乳)
11:00	朝のあつまり
11:20	ボール遊び
11:45	給食
12:30	玩具遊び(親子分離)
13:20	タオルブランコ
13:45	帰りのあつまり
14:00	降園

活動・遊びに目的やねらいがあることを、保護者にも伝えていきます。

親子分離の時間は保護者同士のコミュニケーションや気分転換の時間となっています。

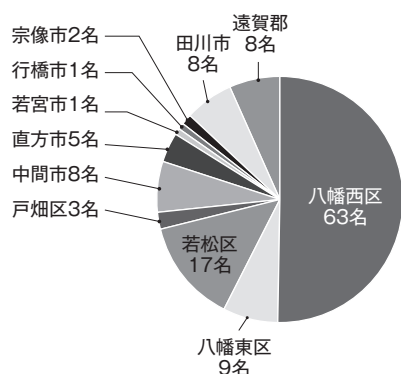


・入園時期

4月〜12月頃まで随時入園することが出来ます。

総合療育センター本体受診↓きらきら通園で面接↓計画相談支援↓受給者証申請手続(各区・市町村役場)↓受給者証受取↓通園開始という流れです。





Q. 利用者はどの地域から登園していますか？

A. 八幡西区を中心に八幡東区、若松区、戸畑区、市外から通園しています。セラピストがいて3歳未満児の親子が通園できる施設が少ないので、市外からの需要も多いようです。



Q. 保護者への支援について教えてください。

A. 保護者には、子どもに関することや保護者自身のことなど、様々なニーズがあります。

○子どもに関するニーズ

「コミュニケーションがとれるようになってほしい。」
 「言葉の理解や表出を増やしたい。」
 「お友だちと一緒に遊べるようになってほしい。」
 「身のまわりのことが少しでも自分で出来るようになってほしい。」
 「オムツが外れるようになってほしい。」
 「食べられるものが増えてほしい。」等

○保護者自身のニーズ

「子どもとの関わり方を学びたい。」
 「このまま保育所や幼稚園に行けるか不安。」等

このような保護者の思いや不安を受け止め、多職種で連携を取りながら、家庭でできる関わりを伝えています。
 保育のあそびの中の目的を伝え

ること、日常の親子のあそびの中で意識してもらえるようにしています。
 また、新しい情報を提供したり、卒園後の進路と一緒に考えています。



Q. 保護者にとって親子通園とはどのような所ですか？

A. 保護者にとつての親子通園の意義とは…

○子どもの特性や集団での様子を知った職員と、進路について話すことができる。

○同じような悩みを持つ保護者との出会い。

○日常生活における子育ての悩みを相談できる職員との出会い。

○家庭では出来ないような活動を通して子どもの好きなことや好きではないこと、得意なこと苦手な事を知る機会が持てる。

○福祉のサービス、事業所、制度など、必要な社会資源に関する情報を得ることができる。

と考えています。
 保護者に寄り添いながら、その子に合った支援をしていきたいと思っています。

(インタビュー 保育北九州編集委員)

〈インタビューを終えて〉

詳しい説明をしていただきながら、一人一人の子どもと保護者に丁寧に関わる姿勢を見せていただきました。

保育所でも子どもの育ちを丁寧に見つめ、保護者の思いを受け止めた保育をしていきたいと感じました。

研修・一期一会

第62回全国保育研究大会に

参加して

平成30年10月24日（水）～26日（金）の3日間、第62回全国保育研究大会が川崎市で開催され、全国各地より保育関係者が集いました。

オープニングアトラクションでは、川崎市消防音楽隊&カラーガード隊によるリズム感・躍動感あふれるドリル演技や演奏がありました。式典では、全国保育協議会会長 万田 康氏による『保育をめぐる動向と全国保育協議会の取り組み』の基



調報告がありました。保育を取り巻く状況と対応・幼児教育の無償化・待機児童の解消・保育士等の処遇改善・保育の質の議論などを具体的な資料を基に、報告がありました。また、保育・子育てについて今現在の国の状況についての説明もありました。

2日目は、各分科会に分かれての研修でした。私は『子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク』をテーマとした第六分科会に参加しました。分科会では、北海道・札幌認定こども園、神奈川県・たまプラーザもみじ保育園、鳥取県・鳥取あすなろ保育園の実践発表がありました。どの園も、地域の関係機関と連携・協働をもつてそれぞれの取り組みべき役割を確立するために日々努力されていることがわかりました。分科会助言者・武庫川女子大学 教授 倉石 哲也氏からは、「我が国の現状は、地域の子育て力が弱くなって、地域との連携が以前より難しくなってきた。また法律が細かく確立し、福祉制度・社会制度・個人情報問題等が制度で守られてきたため、お互いに助け合う力が弱くなってきているのが現状であり、成熟社会の矛盾でもある。」と言われ



ていました。そのためにも、保育所の役割が重要であり、指針にもあるように、保護者に対する子育て支援における地域の関係機関等との連携及び協働を図り、保育所全体の体制構築に努めなければならぬということでした。

3日目は、人間性脳科学研究所 所長 武蔵野学院大学 教授 澤口 俊之氏の記念講演『子どもの脳をいかに育むか』というテーマで講演がありました。前頭前野の知能としての「人間性知能（H・Q）」のお話がありました。人間性知能は、探求心や主体性、協調性などの総称だそうです。脳には臨界期があり、音声・言語能力は1歳～7歳、情動をコントロールする力は1歳～4歳ぐらい、仲間との関係構築力は3歳～7歳ぐらいですが、一番ピークになるそうです。また、幼児期のしつけの大

切さもお話があり、幼児期がいかに重要であるかを学びました。大会の最後は、大会宣言と次回開催地の広島市への引継ぎが行われ、幕を閉じました。

今回、多くの仲間に出会い、多くのことを学ぶことができ、全国の保育の現状を把握できました。そして、少子化の中、保育施設の利用は増加していますが、保育士等の人材不足は否めない状況であり、処遇改善等の諸問題はまだまだたくさんあります。しかし、子どもたちの健やかなる成長を保障するためには、保護者支援や子ども達を取り巻く環境を整えていかないとけないこと、そして、保育士等の資質向上に努めなければならないと改めて感じた研修でした。

高見の森保育園 川口 淳子

寄付

（一社）北九州市保育所連盟

へご寄付

ふたば保育園 園長 松田トシ子様より西村法昭顕彰会受章に伴いご厚志を頂戴いたしましたので、ご報告申し上げます。寄せられましたご主旨を尊重し、有意義に活用させていただきますと共に心から感謝申し上げます。

支部近況

第20回

八幡西区篇 PART2



穴生保育所

静謐な立地にあり、周囲には公園も多いので、0歳児も4月から散歩を楽しむことができます。障害児保育の取り組みをはじめ、一人一人の個性を生かし伸ばす保育を心掛けています。

八幡西区には37の保育所(園)があります。支部近況では3回に分けて各園の様子をご紹介します。今回はPART2をお送りします。

楠橋保育所

広い園庭があり自然豊かな保育所です。小・中学校との連携を深め、学校ごっこ等子どもたちの交流を中心に、保育士・学校教諭との合同研修会・先生体験等実施しています。ネットワークを作り、子どものより良い育ちを地域と一緒に目指しています。

杉の子保育園

全園児で出発するお散歩『おひさまてくてく』や異年齢児混合グループでの『あそびの日』を楽しみに登園するお友だち! お世話したりされたり、微笑ましい時間が流れ、みんな「明るく・楽しく・元氣よく」過ごしています。

木屋瀬保育園

七十数年前にお寺での保育から始まり、心豊かな人格形成を目指した仏教保育を中心に、水泳教室や体育教室などの健康保育、お茶会や生花教室などの情操・伝統文化保育を実践しながら、子どもたちと保育士が笑顔あふれる保育を行っています。

幸神保育園

黒崎の都心部から車で10分位、緑に囲まれ静かな環境の中にあります。設立して51年目の古い園舎ですが、子どもたちは保育目標の一つである「自然に恵まれた環境の中でからだを動かしてあそぶ」の通り、園庭や隣接する公園などで元気に遊んでいます。

別所保育園

園庭にそびえ立つ“そめいよしの”が満開になる春にはお花見給食を行い、夏野菜の収穫や芋掘り稲刈り体験などの自然からの学びも大切にしています。園内は主体性を重んじたコーナー作りや季節ごとに飾られるオブジェなどに心躍らせ様々な環境を楽しんでいます。

折尾保育所

JR折尾駅から徒歩5分の所にあり、園庭に大きな楠の木のある、小高い丘に建っています。体を動かす様々な遊びを取り入れ、健やかな体作りを目指しています。未就学児交流「あそぼう会」を年6回開催、毎年、折尾神楽夏越祭に参加して、おろちの舞を披露するなど、地域との交流を行っています。

さかえ保育園

色とりどりのJRの列車に手を振り、金山川沿いの桜並木は絶好のお散歩コース。四季折々を体で感じています。10月に開催されるマーチングフェスティバルには開園当初から参加。忍耐力や協調性を育むとともに、音楽的感性などの情操面も育っています。

則松保育園

昨年、園創立40年を記念し、福尾野歩氏(野歩さん)に、園歌を作っていただきました。“♪未来へ強く羽ばたこう 優しい笑顔届けます 明日を夢見る則松保育園 さあ出発! オウ!”子どもたち、お気に入りのフレーズです!

引野乳児保育園

近隣の別所公園には、どんぐりや落ち葉拾いなどできる小高い山があり、グラウンドではマラソンやボール遊びをして心身ともに健やかな成長を育んでいます。また、1・2歳児の異年齢児保育を行い、共に育ち合うよう取り組んでいます。

熊西保育園

行事が終わることに少しずつ頼みなくなっていく子どもたち。運動会ではマーチングや組体操などたくさんさんの感動を与えてくれました。年長児は園生活最後の生活発表会・サッカー大会に向けてみんなで練習を頑張っています。

東筑保育園

当園は、地域交流・世代間交流が行える立地に恵まれ、6月に地域の公園愛護会の方々とのこいのぼりあげの様子がメディアに放送されました。子ども達の健やかな成長を願い地域の皆様に見守られながら保育を行っています。

引野保育園

「園庭で遊ぼう!」と元氣いっぱいの子もたち。春は桜の花びらケーキやシロツメクサの冠。夏は虫取り。秋はあらかしの実のどんぐりご飯。冬はもみの木のイルミネーションと四季を感じられる園庭では、いつも子どもたちの元氣な声と笑顔があふれています。



おとうさんといっしょにもちつき うれしいな

(4歳児の作品)

雑感 わたしの宝物

先日、母の誕生日。いくつになったか尋ねると左手を開いて5、そのあと何とか3を示すことが出来た。どうやら80歳を迎えたことは分かっているようだ。娘である私の年を尋ねると左手を開いて2回振る。そして悪戯な顔でニヤリと笑う。私もつられてプツと吹き出す。互いにこんなに年を取ってしまったことをごまかすように笑っている。

母は、今老人ホームで暮す。脳梗塞で倒れた5年前、一時は死も覚悟した。その後一命を取り留めるも、言語障害、嚥下障害、右半身不随となり寝たきり生活を余儀なくされてきた。おなかの穴から直接流動食を食し、ご馳走を口に入れることもできない。それなのに「今日の晩御飯、何作ろうかなあ。ねえ何が食べたい？」と私は母に尋ねる。母は「そんなこと、私に尋ねる？」と言わんばかりにニヤリと笑う。「母さんの作ったコロッケが食べたいなあ」と言うと「自分でつくりなさい」というように左手の人差し指を私に向けてせわしなく動かし、気持ち口を失らせたようにも見える。まるで喋ることが出来ないのに何だか会話が成立するから不思議なものである。

子育て中は母に大変世話になった。娘が熱を出すと『おばあちゃんち』へ娘を連れていき預かってもらうのが常だった。途

中娘の熱が下がって元気になると、母は体力を消耗し夕方にはヘトヘトになっていた。ある日は娘の前髪がパツーン！とスタイルチェンジしていることもあったが、目が点になっていた私に「おばあちゃんに切ってもらった」と娘は誇らしげな笑顔で報告したものだ。帰りには母の決まり文句「娘は泥棒ね」を添えて夕飯の足しなるもの等を袋いっぱい持たされたことも懐かしい。

老人ホームに入居が決まり母の自宅を整理していると、箆笥の奥の方に小さな箱を見つけた。開けてみると中から小さな靴とアヒルの玩具が入っていた。すり減った小さな赤い靴は幼い頃の娘の置き靴、アヒルは水遊びや風呂で活躍した娘のお気に入りグッズだった。こんなものを大事にしまひ込んで花嫁道具にもなりやしないと苦笑しつつも、きっとこれは母の宝物なのだ。胸の奥がキュンと熱くなり感謝の気持ちでいっぱいになった。この宝物は今、私の自宅の押し入れに眠っている。母と娘両方の思い出詰まった、私の大切な宝物として。おばあちゃんになる日が来たら私も母のようになれるだろうか。「今度はお母さんの番」と母は言うだろう。宝箱の中、アヒルも出番を待っている。

ナオミ愛児園 平田敬子

編集後記 — いただきます・ごちそうさまでした —

食前の言葉…「ひとつぶのおこめも、ひとしずくのみずも、みなたいせつなものです
そまつにせずによくかんでいただきます」

食後の言葉…「おかげでごちそうさまでした」

毎日の給食を頂く前に手を合わせ、お米や水にも、肉や魚はもちろんのこと、野菜や果物にもいのちがあり、それぞれの食材に感謝の思いから、初代園長が食事の言葉として、園児たちに受け継がれている。

近年は給食費を払っているのだから「いただきます」「ごちそう

さま」を言う必要はないと学校に申し入れる親がいるという。

人と人との関わりや食への関心が高まる今、「いただきます」「ごちそうさま」に教えられる事は多く、日本人の考え方や食文化が色濃く反映され、食事の言葉が生まれたようです。

何気ない言葉ですが、意味を知って使うことで、心の栄養につながるのではないのでしょうか。

日野前編集長が病に倒れられ一年余り、先生の快復を願いつつ、編集委員一同より良い紙面作りに頑張りたいと思います。今年もどうぞよろしく願いいたします。

「保育北九州」編集長 西 敏 昭